

○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	
あ		ー～ ※一日あたり、一歯科医として	1～ 一々	おく(抽象物を)置く ※信頼を～、支店を～ ～(して)おく～(して)置く ※複合語は漢字「据え置く」	彼かれ 辛うじて cal かわい かわいそう 代わる代わる 癌がん 鑑みる 関して(関する) 頑張る 元来	かれ かろうじて カロリー 可愛い 可愛想、可哀相 かわるがわる がん かんがめる かんして がんばる がんばらい	子ども 子供、こども この このうえない 好んで ご飯 こまごま ～込む ※差し込む、申し込む、仕込む これ 之、是、此れ 頃ころ、ごろ 根(歯の)→歯根 ※根面、根分岐部は可	す		
相いれない 相変わらず 愛嬌 挨拶 間 相次ぐ(いで) あいにく 曖昧 あいまって あえて 煽る 上がる あがる(敬語) ※おあがりになる あくまで 揚げ句 上(挙、揚)げる ※例をあげる、表にあげるは例外 あげる(敬語) ※ご飯をあげる あずかる(関係) あたかも (1)にはあたらない ※驚くにはあたらない ～あたり(って) ※企画にあたり、開会にあたり ○○あたり ※一人あたり、一軒あたり 辺り ※この辺り、その辺り 当たり前 あたる ※スポットが当たる、当たり外れ あたる ※(フグ、物事、任、万死)にあたる 宛 ※宛先、○○宛 あてもなく 後 ※その後、～した後 あながち 余すところなく あまた あまねく あまり(副、形動) ※余剰の意は漢字 洗いざらい あらかじめ あらかた 新たに 改めて あらゆる 表す(現) ありあり ありがた ※珍しいの意は漢字 ありがたう 有り様 ある あるいは 併せて(副、接) 案内 暗に	相容(入)れない あいかわらず 愛きょう、愛敬 あいさつ あいだ 相継ぐ、あいつぐ 生憎 あいまい 相俟って 敢えて あおる あ(揚、挙)がる 上がる ※おあがりになる 飽くまで 挙げ句、あげく あげる ※例をあげる、表にあげるは例外 上げる 与る 恰も (1)には当たらない ～当たり(って) ※企画にあたり、開会にあたり ○○当たり ※一人あたり、一軒あたり あたり ※この辺り、その辺り あたりまえ あたる ※スポットが当たる、当たり外れ 当たる ※(フグ、物事、任、万死)にあたる あて ※宛先、○○宛 あてもなく 当(宛)てもなく あと ※その後、～した後 強ち あますところなく 数多 あまねく 遍く、普く あまり(副、形動) 余り ※余剰の意は漢字 あらいざらい 予め 粗方 あらたに あらためて 凡ゆる あらわす 有り有り 有り難い ※珍しいの意は漢字 有り難う ありさま 或る(在、有) 或は あわせて あんがい あんに	いちいち 一応 一概に 著しい 一段と いち早く 一番 いつ I級、II級 ※窩洞の分類、Angleの分類など 一気に 一挙に 一向に 一切 一緒に 一斉に 一層(副) いったい 一体 いったん 一旦 一時に いつときに いっぱい(副) 一杯 ※名詞は別「一杯のかけそば」 一般(1) いっばんに 一遍(1) いっぺん(1) 否 今(名) いま ※今の時代、過去の治療の今 今(副、接) いま ※今～、今現在、～となった今 いまさら 今さら、今更 いまだ 未だ 海外移住者←移民(禁) いや(いいえ) 否 嫌な、嫌だ(形動) 嫌々 否応なく いやがうえにも いやに 嫌に いよいよ 愈々 いる 居る 色々 色々 いわずば 謂わば いゆゆる 所謂 いゆんや 況や ごまかし←インチキ(禁)	置く ～(して)置く ※複合語は漢字「据え置く」 おける おこなう 押し並べて 恐らく 畏れ、恐れ、虞 おそれ、おそれがある おそれ、おそれ、畏れ、虞 追って(副) おって 奥、おとかい おとな おとなしい 大人しい おのおの 各々、各 おのずから 自ら おのれ 己 おぼつかない 覚束ない 面白い おもしろい 主 おもに おもむくに 徐に およそ 凡そ および(接続詞) 及び および(接続詞) 及び 及ぶ および ※重度に及ぶ、～には及ばない 折 ※～の折、折から、折しも、折々 おる 居る ～(は)おるか～(は)疎か ※象牙質はおろか歯髄にまで おろそか 疎か 終わり おわり ※中見出し「おわりに」は仮名	き 気後れ 気がかり 肢体の不自由な子ども←奇形児(禁) 稀少 希少 きたす 来す きたる 来る きつけ 切っ掛け 気づく、気がつく 気付く、気が付く 気持、きもち 急遽 急きょ 極力 きょくりょく きれい 綺麗、奇麗 きわめて 極めて 極める きわめる ※見極め、極め付き	き 気遅れ 気掛かり ←奇形児(禁) 希少 希少 来す 来す 来る 来る 切っ掛け 切っ掛け 気付く、気が付く 気付く、気が付く 気持、きもち 急きょ 急きょ きょくりょく きょくりょく 嫌い 綺麗、奇麗 極めて 極めて きわめる きわめる ※見極め、極め付き	今後 こんご 今度 こんど コンピュータ コンピューター 昏迷 昏迷	さ			
						○歳 ～(の)際 ○○材(薬剤以外) ※ボンディング材 ○○剤(薬剤) ○○材 ※エッチング、ホワイトニング剤 幸い さいわい 遑る さかのぼる 先(先に、先ほど) さき 些細な ささいな 捧げる ささげる 差し上げる さしあげる さしあたり(って) 差し当たり(って) さしずめ 差し詰め さして 然して 差し向き さしむき さすが 流石 沙汰 さた ※取り沙汰、ご無沙汰、音沙汰 さだめし 定めし 早急に さつきゅうに さっそく 早速 さばく 捌く ※「裁く」は漢字 さほど 左程、然程 様 さま ※生き様、寂しげな様、岩本様 さまざま 様々 さも 然も さらす 晒す、曝す さらに(接続詞) 更に 更に、更なる(副詞) さらに、さらなる 去る(過去) 散々 三次元 3次元	せ			
						精一杯 せいいつぱい 精神障害←精神異常(禁) 知的障害←精神薄弱(禁) 統合失調症←精神分裂病(禁) せいぜい 精々 生息 棲息 是が非でも ぜがひでも 咳 せき 世知辛い せちがらい せっかく 折角、切角 石鹸 せっけん、石けん 絶対に ぜったいに 切に せつに 切羽詰まる せつづつまる ぜび(副詞) 是非 ※名詞は漢字「是非を問う」 全然 ぜんぜん	そ			
い		う		か		け		こ		
いい 言い換えれば 言う(発言する) ※～と言われている ～いう ※～という場合、そういう 言うまでもなく いえども いなか いかに 活かす ※命に関する場合は「生かす」 いかん 如何 いきおい(副) 勢い ※名詞は漢字 ～(て)いく ～(て)行く ※動詞連用形につく場合 行く いく(ゆく) いくばく 幾何 いくぶん 幾分 いくら 幾ら いささか 些か いさめる 諫める、諫める 萎縮 委縮、畏縮 いす 椅子、イス いずこ 何処 いずれ 何れ 依然 いぜん いたす 致す いたずらに 徒に いただく 頂(戴)く いたって(副) 至って 至る ※歯髄に至る、至る所、至らない	良い いいかえれば いう ※～と言われている ～言う ※～という場合、そういう いうまでもなく いえども いなか いかに 活かす ※命に関する場合は「生かす」 如何 如何 勢い ※名詞は漢字 ～(て)行く ～(て)行く ※動詞連用形につく場合 いく(ゆく) 幾何 幾分 幾分 些か 諫める、諫める 委縮、畏縮 椅子、イス 何処 何れ いぜん 致す 徒に 頂(戴)く 至って 至る ※歯髄に至る、至る所、至らない	上(名) うえ ※山の上、上のほう ～うえ ～上 ※そのうえ、明記のうえで 伺う うかがう うかがう 窺う 齧蝕 う蝕 後ろ うしろ 薄々 うすうす 歌う、謡う、謳う うたう ～うち ～内(中) ※そのうち、三つのうち 内 うち ※部屋の内、内にこもる 打ち～(接頭) うち～ ※～捨てる、～解ける、～明ける うつ 鬱 ※うつ血、うつ滞、うつとうしい うつぶせ うつ伏せ、俯せ 鵜呑み うのみ 羨ましい うらやましい ～(1)うる ～(1)得る ※獲得の意では漢字 上の空 うわのそら うわべ 上辺 云々 うんぬん	置く ～(して)置く ※複合語は漢字「据え置く」 おける おこなう 押し並べて 恐らく 畏れ、恐れ、虞 おそれ、おそれがある おそれ、おそれ、畏れ、虞 追って(副) おって 奥、おとかい おとな おとなしい 大人しい おのおの 各々、各 おのずから 自ら おのれ 己 おぼつかない 覚束ない 面白い おもしろい 主 おもに おもむくに 徐に およそ 凡そ および(接続詞) 及び および(接続詞) 及び 及ぶ および ※重度に及ぶ、～には及ばない 折 ※～の折、折から、折しも、折々 おる 居る ～(は)おるか～(は)疎か ※象牙質はおろか歯髄にまで おろそか 疎か 終わり おわり ※中見出し「おわりに」は仮名	かい 甲斐 ※生きがい、～しが、かいがない 概して がいして 外国人←外人(禁) 垣間見る かいま見る 皆目 かいてもく 返す返す かえすがえす かえて(副) 却って かかる 斯、罹、係、関 ～(1)にかかわらず ～(1)に拘らず かわかる(動) 関(拘、係)わる ～かぎり ～限り ※～するかぎり、力のかぎり 限る(動) かぎる ※現品に限り、うちの子に限って 各 かく ※「おの」と読む場合仮名 掻く(旧字) 掻く(新字) 欠く かく、関く 格段 かくたん 格別 かくべつ かけがえ 掛け替え ～か月 ～箇(ケ、カ)月 掛ける(物体を) かける ※服を掛ける、納豆を掛ける かける(抽象物を) 掛(懸)ける ※保険(迷惑)を～、氣(手、心)に～ 重ねて かさねて ～か所 ～箇(ケ、カ)所 箇所(単独) カ所、ヶ所 ※訂正箇所、該当箇所 かすかに 微かに 風邪 かぜ 片方の～ 一片～(足、手、目)(禁) ～(やり)方 (やり)かた 方(人、方向) かた ※偉い方、読者の方々、西の方 ～方(接尾) がた ※先生方、あなた方 硬い(歯科材料) 固い、堅い ～(1)がたい ～(1)難い ※想像しがたい(動詞連用形十) ～(1)に難い ～(1)にがたい ※想像に難くない かたがた 旁々 ※お礼かたがた 片づく、片がつく 片付く、片が付く ～(の)かたわら ～(の)傍ら ～(1)がち ～(1)勝ち かつ 且つ 脚氣 かつけ 括弧 かつこ かつて 叶う かなう 叶う 必ず かならず かなり 可成り かねて 予て 構う かまう ※子どもを構う、なりふり構わず ～かまわない ～構わない ※～しても(しようと)かまわない かむ 噛む ※文中で判別しにくい場合に限り、漢字書きを認める	彼かれ 辛うじて cal かわい かわいそう 代わる代わる 癌がん 鑑みる 関して(関する) 頑張る 元来 き 気後れ 気がかり 肢体の不自由な子ども←奇形児(禁) 稀少 希少 きたす 来す きたる 来る きつけ 切っ掛け 気づく、気がつく 気付く、気が付く 気持、きもち 急遽 急きょ 極力 きょくりょく きれい 綺麗、奇麗 きわめて 極めて 極める きわめる ※見極め、極め付き く 具合 楔(状況損) くさび(状況損) くしくも 奇しくも ください 下さい ※～してください、○○をください 下す くだす ※(腹、敵、評価、決定)を下す くぼむ 窪む、凹む 組み替える くみかえる ※「遺伝子組換え」は例外 クモ膜 蜘蛛膜、くも膜 ～くらい、ぐらい ～位 ※それぐらい、およそ5gぐらい 比べる 較べる g グラム ※SI接頭辞(μ、m、c、k等)をつける ～(して)くる ～(して)来る ※本来の意味では漢字 くれぐれも 呉々も け ～げ(接尾) ～気 ※悲しげ、満足げ 痙攣 けいれん 稀有 けう、希有 けだし 蓋し けた違い(外れ) 桁違い(外れ) 結局 けっきょく 結構 けっこう 決して けっして 現に げんに 敵に げんに 研磨 研摩 こ 個 ケ ご～(接頭) 御～ こいぬがう 希(冀、請い願)う こうこう 煌々 交叉(遺伝子の) 交差 亢進(生体機能の) 高進、昂進 ※甲状腺機能亢進症 被る こうむる、蒙る 超える 越える ※想像、限界、1万人、記録、制限時間 越える 超える ※山、障害、一線、10時 ごく 極く 心がけ 心掛け 試みに こころみに ～(1)越したこと ～(1)こしたこと こしらえる 拵える こぞって 拵って 御存じ ござんじ 答える、応える こたえる ごちそう 御馳走、ご馳走 ～こと ～事 ※～ということ、これらのこと 事(出来事) こと ～事の重み、事が事だけに、事柄 ～こと ～毎 ごとく 如く ことごとく 悉く 事ごとに ことごとに ことさら 殊更 ことに 殊に ことのほか 殊の外 言葉 ことば	子ども 子供、こども この このうえない 好んで ご飯 こまごま ～込む ※差し込む、申し込む、仕込む これ 之、是、此れ 頃ころ、ごろ 根(歯の)→歯根 ※根面、根分岐部は可 今後 こんご 今度 こんど コンピュータ コンピューター 昏迷 昏迷 さ ○歳 ～(の)際 ○○材(薬剤以外) ※ボンディング材 ○○剤(薬剤) ○○材 ※エッチング、ホワイトニング剤 幸い さいわい 遑る さかのぼる 先(先に、先ほど) さき 些細な ささいな 捧げる ささげる 差し上げる さしあげる さしあたり(って) 差し当たり(って) さしずめ 差し詰め さして 然して 差し向き さしむき さすが 流石 沙汰 さた ※取り沙汰、ご無沙汰、音沙汰 さだめし 定めし 早急に さつきゅうに さっそく 早速 さばく 捌く ※「裁く」は漢字 さほど 左程、然程 様 さま ※生き様、寂しげな様、岩本様 さまざま 様々 さも 然も さらす 晒す、曝す さらに(接続詞) 更に 更に、更なる(副詞) さらに、さらなる 去る(過去) 散々 三次元 3次元 し 強い 潮時 しかし 仕方(ない) じかに しかも 叱る しかるに じきに 色覚異常 ←色盲(禁) しきりに 頻りに 仕組み しくみ ブラーク←歯垢 至極 しごく 子細(1) しさい、仔細(1) 次第 しだい ※次第に、～し次第 従う したがう ※増えるに従って、従える したがって(接) 従って 支度 仕度 したためる 認める しつけ 躾、仕付 実際 じっさい 実に じつに 実は じつは し尿 屎尿 しばしば 屢々 しばらく 暫く 痺れる しびれる 渋々 しぶしぶ しまい 終い、仕舞い 重々 じゅうじゅう 充填(旧字) 充填(新字) ※補填、填塞等、 すべて旧字 十分 充分 上手 じょうず 文夫 じょうぶ 植物状態 ←植物人間(禁) 諸所 しょしょ 徐々に じょじょに 所詮 しょせん しらじらしい 白々しい 滲出 浸出 蕁麻疹 じんましん	随分 ずいぶん ～(1)にすぎない ～(1)に過ぎない (度が)すぎる (度が)過ぎる ※おいたがすぎる、～しすぎる (時が)過ぎる (時が)過ぎる ※5年が過ぎる、過ぎ去りし すくう(液体を) 掬う すなくとも すくなくとも すぐに 直ぐに すくむ 竦む 優れて、優れる すぐれて、勝れて すごい 凄 少し すこし すこぶる 頗る ずさん 杜撰 勤める 奨める ※人・物の採用を促す→「薦める」 ずつ 宛 すてき 素敵、素的、素適 すでに 既に すなわち 即ち(則) すばらしい 素晴らしい すべて 全て(総、凡) ～済み ～済み ※記入済み、それは済みだ すみやかに 速やかに すむ 済む 擦り合わせる すり合わせる ※擦り傷、擦り切れ、擦り抜け、擦り減る、擦れ違う、擦りむく、床擦れ すり替える 擦り替える ※すり切り、ごますり、手すり すれすれ 擦れ擦れ	せ 精一杯 せいいつぱい 精神障害←精神異常(禁) 知的障害←精神薄弱(禁) 統合失調症←精神分裂病(禁) せいぜい 精々 生息 棲息 是が非でも ぜがひでも 咳 せき 世知辛い せちがらい せっかく 折角、切角 石鹸 せっけん、石けん 絶対に ぜったいに 切に せつに 切羽詰まる せつづつまる ぜび(副詞) 是非 ※名詞は漢字「是非を問う」 全然 ぜんぜん	そ ～沿い ～ぞい ※道沿い、山沿い 沿う 添う、副う ※(線路、目的、方針)に沿う 添う 副う、沿う ※付き添う、(民意、要望)に添う 総じて そうじて 錚々たる そうそうたる 早々に そうそうに 相当 そうとう 掻(旧字)爬 掻(新字)爬 素っ気ない そっけない その 其の そのうえ その上 そば 傍、側 そびえる 聳える 染出し 染め出し そもそも 抑も それ 其れ それぞれ 夫々 それゆえ それ故 揃う そろう 存ずる ぞんずる	た 第一 第1 ※第一に、第一大臼歯 大概 たいがい たいした 大した たいして 大して ～(1)に対して ～(1)にたいして 大丈夫 だいじょうぶ 大切 たいせつ たいそう 大層 だいたい 大体 たいてい 大抵 だいぶ(ん) 大分 たいへん(副) 大変 たいへん 大変(名、形動) たいへん ※国家の大変、それは大変だ 絶えず(副) たえず 絶えて(副) たえて (するに)堪えない (するに)たえない

○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	
互いに たかが知れる 高をくくる たくさん 巧みに だし 多少 確かに たそがれ ただ たたえる たたく ただし ただし書 ただちに 〇〇たち(私たち) たちどころに たちまち 建前 たとい たとえ(副) たとえば 例える ※例えて言えば、例え話 たび ※このたび、ひとたび たびたび 多分 食べ物 ※食物は「しょくもつ」 たまたま たまる(ブランク) ため 駄目 だれ 垂れる 炭疽 だんだん(副) 断トツ 単に	たがい 高が知れる たかをくくる 沢山 たくみに 出汁 たしょう たしかに 黄昏 唯、只 称える、讃える 叩く 但し 但書 直ちに 〇〇達 立ち所に 忽ち 建て前、たてまえ 例い 例え 例えは たとえる ※例えて言えば、例え話 度 たびたび 度々 たぶん 食物 ※食物は「しょくもつ」 偶々 溜まる 為 ため だめ 誰 滴れる、たれる 炭そ 段々 ダントツ たんに	的確(的中) 適確(適中) 出来る 手はず と 問合せ先 問い合わせ先 ※新製品、インフォメーション欄 当然 とうてい とうとう ～(の)とおり ～(の)通り ※図に示すとおり 〇通り 〇とおり ※3通りの方法 と(に)かく 兎(に)角 ～(する)とき ～(する)時 時折 ときおり ときたま 時々(副) 時々(名詞) ときどき ※時々(話題、その時々で変化する) ときに 時に 途切れる とぎれる 養護学級 ←特殊学級 特に とくに どこ 何処 とこしえ 常(長)しえ、永久 ところ(抽象) 所、処 ※～したところ、そういうところ 所(場所) ところ、処 ※遠い所、所変われば ところが 所が ところで 所で ところどころ 所々 閉じる、綴じる とじる 途絶える とだえる 途端 とたん とっさ 咄嗟 突然 とつぜん 整(調)える ととの(斉)える とどめる 止める(留) とはいえ とは言え ※とはいものの 止めどなく とめどなく 〇〇ども 〇〇共 ※私ども、野郎ども ともども 共々 伴う ともなう ともに 共に 捉える とらえる ※意味を捉える、～と捉える 捕らえる とらえる 取り～(接頭) とり～ ※取り(まとめ、やる、決める) とりあえず 取りあえず とりえ 取り柄 とりわけ 取り分け 取(採、撰、捕)る とる ※歳を取る、睡眠を取る、食事を摂る	賑やか(わう) ～(し)にくい 二、三の 睨む にわかに 俄に ぬ ぬきんでる ぬれぎぬ ね ねんごろ 年令 の 脳振盪 脳振とう のける 除(退)ける 後 のち ※抜歯の後、その後 のち(副) 後 ※晴れのち曇り 後ほど のちほど、後程 のっとなる 則る 延べ は 徘徊 徘徊 ばい菌 微菌 ※可能なら「微生物」「細菌」等に 排泄 排せつ 生え替わる(歯が) 生え変わる はがき 葉書、ハガキ はかどる 捗る 図らずも はからずも 計る、量る、測る はかる 図る、諮る、謀る はかる 育む はぐくむ 漠然 ばくぜん 莫大 ばくだい 剥離(剥は旧字) はくり 歯応え 歯ごたえ はさみ 鋏 ハサミ 挟む はさむ はし 箸 初め はじめ ※中見出し「はじめに」は仮名 (を)はじめ (を)初め ※院長をはじめ(として) 初めて(副) はじめて (～して)初めて (～して)はじめて 始める はじめる ※～を始める、～し始める はず 筈 外れる はずれる ※町外れ、踏み外す 裸足 はだし はたして 果たして 発酵 醗酵 派手 はで 甚だ(副、形容) はなはだ はばかり 憚る 歯ブラシ ハブラシ 歯磨き はみがき 羽目 はめ 早々と はやばやと	ひとまず 一先ず 一人、独り ひとり ※1, 2, 3 と入替え可能な場合は漢字 ひとりでに 独りでに 独り善がり ひとりよがり ひとわたり 一渡り 非難 批難 農家の人・農民 ←百姓・農夫(禁) 糜爛 びらん 翻って ひるがえって 広がる 拡がる 蟬壁 ひんしゆく ふ ～風 ～ふう ※洋風、学者風 ～(の)ふうに ～(の)風に ※こういうふう、知らないふうに 孵化 ふ化 俯瞰 俯瞰、ふかん 賦形 付形 無様、無精、無粋 不様、不精、不粋 ふさわしい 相応しい 不十分 不充分 再び ふたたび ふだん 普段 ※「～の努力」は不断 普通 ふつう 踏まえる(て) ふまえる(て) 腐爛 腐乱 ～(の)ふり ～(の)振り ※知らぬ～、他人の～、思わせぶり 〇振り(素、身、手) 〇ぶり ～ぶり ～振り ※久しぶり、〇年ぶり 奮って ふるって 振る舞い ふるまい ホームレス、路上生活者 ←浮浪者(禁)	まとめる 纏める 真似 まね 麻痺 まひ まま 俛 摩耗 磨耗 まもなく 間もなく 丸ごと まるごと 丸々 まるまる まれ 稀 万(かり)一 まん(かり)いち 真ん中(前) まんなか み ～み(接尾) ～味 ※弱み、厚み(新鮮味のみ例外) み～(接頭) 御～ ※み霊、み代 見いだす 見出す みぎり 砌 見事 みごと みずから 自ら みずみずしい 瑞々(水々)しい みだりに 妄(濫)りに 道 路、途、径 見つける 見つける 見どころ 見所 みなす 見做す、見なす 見栄え 見ばえ、見映え 見よう見まね 見様見真似 (物事が)みられる 見られる ※実際に見る場合は漢字 見る、観る、診る みる ～(して)みる ～(して)見る む むしろ 寧ろ 難しい むずかしい 無駄 むだ むなしい 空(虚)しい 旨 むね むやみ 無闇、無暗 無理(やり) むり(やり) 無論 むろん め ～め(長め) ～目 ～目(二人目) ～め 銘々 めいめい メンテナンス メンテナンス m メートル ※SI 接頭辞(μ、m、c、k 等)をつける 眼鏡 めがね (を)めぐる(問題) 巡る ※回る、囲む意は漢字 目指す めざす 目覚ましい めざましい 召し上がる めしあがる めちやくちゃ 滅茶苦茶 めったに 滅多に めど 目途、目処 めまい 眩暈、目眩 めりはり 減り張り 面倒 めんどう も 申し上げる もうしあげる 申し訳 もうしわけ 申す もうす 毛頭 もうとう 朦朧 もうろう もくろみ 目論見 もし 若し もしくは 若しくは もちろん 勿論 持つ(具体) もつ もつ(抽象) 持つ ※複合語例外(併せ持つ、受け持つ) もったいない 勿体ない もって 以て 最も もっとも もっとも 尤も もつぱら 専ら 下、元、本、基、許 もと もとづく もともと 元々、本々 もとより 固より、素より もの 者、物 ※具体的な人、物体を表す場合漢字 もはや 最早 漏れる 貰う もろもろ 洩れる、もれる 諸々 も やかましい 喧しい 矢先 やさき 易しい、優しい やさしい ～(し)やすい ～(し)易い	厄介 やっかい やはり 矢張り やまやま 山々 やむをえない 已むを得ない やや 稍々 ややもすれば 動もすれば やる 遣る ※やり方、読んでやる 和らぐ やわらぐ 軟かい(歯科材料) 柔らかい ゆ 憂うつ 憂鬱 優に ゆうに 悠々 ゆうゆう 故(名詞) ゆえ ※故あって、故なく、何故 ～ゆえ 故 ゆえに ゆえに ゆえん 所以 ゆえん 故に 歪む ゆがむ ゆく(いく) 行く ～(して)ゆく ～(して)行く ゆくゆく 行く行く 委ねる ゆだねる ゆるり 緩り よ 良い、善い よい ※頭が良い、操作性が良い ～よい ～良い ※～してよい、～のほうがいい ～(の)ように ～(の)様に ようやく 漸く 余計 よけい 由 よし 良(善)し悪し よしあし よって 因って 呼ぶ よぶ ※～と呼ばれる よほど 余程 よりどころ 拠り所 寄り辺 寄るべ よろしく 宜しく ら ハンセン病 ←らい病(禁) 〇〇ら(われら) 〇〇等 り 罹患 りかん リ リットル 立派 りっぱ ろ ろう 蠟、蠟 ※文中で判別しにくい場合に 限り、 蠟(旧字)を認める ろうあ 嚔、唾 瘰癧 ろう孔 濾過 ろ過 わ 我が わが わかる 分か(判、解)る 分かれる、別れる わかれる わきまえる 弁える ～わけ(…ない) ～訳(…ない) ※わけにはいかない、わけではない 技、業 わざ わざと 態と わずか 僅か 煩う、患う わずらう 私 わた(く)し ～わたる ～亘る、亙る ※広範囲にわたり、3か月にわたって 渡る(動詞) わたる ※海を渡る、風が渡る 割合に わりあい 割に わりに 我(々) われ(われ) 彎曲 湾曲、弯曲
ち	ち	ち	ち	ち	ち	
知的障害者 ←知恵遅れ・低能(禁) ～(に)ちがいない ～(に)違う 違う ※色が違う、違いがわかる 近々 ちかぢか 近づく 近付く 逐一 ちくいち ちなむ、ちなみに 因む、因みに 認知症 ←痴呆症 註(脚註の場合) 注 ちょうど 丁度 ちよっと 一寸 沈殿 沈殿	知的障害者 ←知恵遅れ・低能(禁) ～(に)ちがいない ～(に)違う 違う ※色が違う、違いがわかる 近々 ちかぢか 近づく 近付く 逐一 ちくいち ちなむ、ちなみに 因む、因みに 認知症 ←痴呆症 註(脚註の場合) 注 ちょうど 丁度 ちよっと 一寸 沈殿 沈殿	知的障害者 ←知恵遅れ・低能(禁) ～(に)ちがいない ～(に)違う 違う ※色が違う、違いがわかる 近々 ちかぢか 近づく 近付く 逐一 ちくいち ちなむ、ちなみに 因む、因みに 認知症 ←痴呆症 註(脚註の場合) 注 ちょうど 丁度 ちよっと 一寸 沈殿 沈殿	知的障害者 ←知恵遅れ・低能(禁) ～(に)ちがいない ～(に)違う 違う ※色が違う、違いがわかる 近々 ちかぢか 近づく 近付く 逐一 ちくいち ちなむ、ちなみに 因む、因みに 認知症 ←痴呆症 註(脚註の場合) 注 ちょうど 丁度 ちよっと 一寸 沈殿 沈殿	知的障害者 ←知恵遅れ・低能(禁) ～(に)ちがいない ～(に)違う 違う ※色が違う、違いがわかる 近々 ちかぢか 近づく 近付く 逐一 ちくいち ちなむ、ちなみに 因む、因みに 認知症 ←痴呆症 註(脚註の場合) 注 ちょうど 丁度 ちよっと 一寸 沈殿 沈殿	知的障害者 ←知恵遅れ・低能(禁) ～(に)ちがいない ～(に)違う 違う ※色が違う、違いがわかる 近々 ちかぢか 近づく 近付く 逐一 ちくいち ちなむ、ちなみに 因む、因みに 認知症 ←痴呆症 註(脚註の場合) 注 ちょうど 丁度 ちよっと 一寸 沈殿 沈殿	
つ	つ	つ	つ	つ	つ	
次いで ついで ついでに ついに つかむ 掴む 〇〇付き つき ※尾頭付き、折り紙付き ～つき ～付き ※目つき、顔つき、体つき 次に つぎに 付く(接触の意) つく つく(抽象物が) 付く ※(実力、花、色、片、気)がつく ～つく(接尾) ～付く ※ががつく、べたつく、ごたつく 作(創、造)る つくる ※抽象物の場合は仮名も可 ～付け ～づけ ※〇日付け、今日付け、日付 続いて つづいて 綴る つづる 都度 つど 努めて つとめて 勤める(務、努) つとめる つながる 繋がる 常々 つねづね 常に つねに つぶやく 呟く つまびらか 詳らか、審らか つもり 積もり ※そのつもり、心づもり 積もる つもる ※雪が積もる、見積もり ツヤ 艶、つや ※光沢の意の場合(艶っぽい)は漢字)	次いで ついで ついでに ついに つかむ 掴む 〇〇付き つき ※尾頭付き、折り紙付き ～つき ～付き ※目つき、顔つき、体つき 次に つぎに 付く(接触の意) つく つく(抽象物が) 付く ※(実力、花、色、片、気)がつく ～つく(接尾) ～付く ※ががつく、べたつく、ごたつく 作(創、造)る つくる ※抽象物の場合は仮名も可 ～付け ～づけ ※〇日付け、今日付け、日付 続いて つづいて 綴る つづる 都度 つど 努めて つとめて 勤める(務、努) つとめる つながる 繋がる 常々 つねづね 常に つねに つぶやく 呟く つまびらか 詳らか、審らか つもり 積もり ※そのつもり、心づもり 積もる つもる ※雪が積もる、見積もり ツヤ 艶、つや ※光沢の意の場合(艶っぽい)は漢字)	次いで ついで ついでに ついに つかむ 掴む 〇〇付き つき ※尾頭付き、折り紙付き ～つき ～付き ※目つき、顔つき、体つき 次に つぎに 付く(接触の意) つく つく(抽象物が) 付く ※(実力、花、色、片、気)がつく ～つく(接尾) ～付く ※ががつく、べたつく、ごたつく 作(創、造)る つくる ※抽象物の場合は仮名も可 ～付け ～づけ ※〇日付け、今日付け、日付 続いて つづいて 綴る つづる 都度 つど 努めて つとめて 勤める(務、努) つとめる つながる 繋がる 常々 つねづね 常に つねに つぶやく 呟く つまびらか 詳らか、審らか つもり 積もり ※そのつもり、心づもり 積もる つもる ※雪が積もる、見積もり ツヤ 艶、つや ※光沢の意の場合(艶っぽい)は漢字)	次いで ついで ついでに ついに つかむ 掴む 〇〇付き つき ※尾頭付き、折り紙付き ～つき ～付き ※目つき、顔つき、体つき 次に つぎに 付く(接触の意) つく つく(抽象物が) 付く ※(実力、花、色、片、気)がつく ～つく(接尾) ～付く ※ががつく、べたつく、ごたつく 作(創、造)る つくる ※抽象物の場合は仮名も可 ～付け ～づけ ※〇日付け、今日付け、日付 続いて つづいて 綴る つづる 都度 つど 努めて つとめて 勤める(務、努) つとめる つながる 繋がる 常々 つねづね 常に つねに つぶやく 呟く つまびらか 詳らか、審らか つもり 積もり ※そのつもり、心づもり 積もる つもる ※雪が積もる、見積もり ツヤ 艶、つや ※光沢の意の場合(艶っぽい)は漢字)	次いで ついで ついでに ついに つかむ 掴む 〇〇付き つき ※尾頭付き、折り紙付き ～つき ～付き ※目つき、顔つき、体つき 次に つぎに 付く(接触の意) つく つく(抽象物が) 付く ※(実力、花、色、片、気)がつく ～つく(接尾) ～付く ※ががつく、べたつく、ごたつく 作(創、造)る つくる ※抽象物の場合は仮名も可 ～付け ～づけ ※〇日付け、今日付け、日付 続いて つづいて 綴る つづる 都度 つど 努めて つとめて 勤める(務、努) つとめる つながる 繋がる 常々 つねづね 常に つねに つぶやく 呟く つまびらか 詳らか、審らか つもり 積もり ※そのつもり、心づもり 積もる つもる ※雪が積もる、見積もり ツヤ 艶、つや ※光沢の意の場合(艶っぽい)は漢字)	次いで ついで ついでに ついに つかむ 掴む 〇〇付き つき ※尾頭付き、折り紙付き ～つき ～付き ※目つき、顔つき、体つき 次に つぎに 付く(接触の意) つく つく(抽象物が) 付く ※(実力、花、色、片、気)がつく ～つく(接尾) ～付く ※ががつく、べたつく、ごたつく 作(創、造)る つくる ※抽象物の場合は仮名も可 ～付け ～づけ ※〇日付け、今日付け、日付 続いて つづいて 綴る つづる 都度 つど 努めて つとめて 勤める(務、努) つとめる つながる 繋がる 常々 つねづね 常に つねに つぶやく 呟く つまびらか 詳らか、審らか つもり 積もり ※そのつもり、心づもり 積もる つもる ※雪が積もる、見積もり ツヤ 艶、つや ※光沢の意の場合(艶っぽい)は漢字)	
て	て	て	て	て	て	
提示(提出) 丁寧 手遅れ 手がかり 出来(名詞) ※出来映え、上出来、出来事 できあがる	提示(提出) 呈示(呈出) ていせい ていせい 手遅れ 手後れ 手がかり 手掛かり 出来(名詞) でき ※出来映え、上出来、出来事 出来上がる	提示(提出) 呈示(呈出) ていせい ていせい 手遅れ 手後れ 手がかり 手掛かり 出来(名詞) でき ※出来映え、上出来、出来事 出来上がる	提示(提出) 呈示(呈出) ていせい ていせい 手遅れ 手後れ 手がかり 手掛かり 出来(名詞) でき ※出来映え、上出来、出来事 出来上がる	提示(提出) 呈示(呈出) ていせい ていせい 手遅れ 手後れ 手がかり 手掛かり 出来(名詞) でき ※出来映え、上出来、出来事 出来上がる	提示(提出) 呈示(呈出) ていせい ていせい 手遅れ 手後れ 手がかり 手掛かり 出来(名詞) でき ※出来映え、上出来、出来事 出来上がる	
に	に	に	に	に	に	